

食育の取り組み「ぶりの解体」～いのちをいただく～



ぶりの照り焼きにして食べました。



これは魚の心臓だよ

へええ心臓かあ



1月19日職人の方に来ていただき、80cm以上の大きなぶりを解体してもらいました。大きなぶりが解体されていく姿を見て「すごい！」と目を輝かせる子や「こわい〜」「かわいそう」と手で目を覆う子など様々な反応を見せてくれました。また給食室の職員から、いただきますには「2つのありがとう」があるという話を聞きました。ひとつは「作ってくれた人にありがとう」もうひとつは「野菜・魚・肉など命にたいしてありがとう」さばく様子や血、骨、内臓を見て「もう生きてないな」「泳がれへんな」「どこの海で泳いでたのかな」と話す子どもたちでした。実際に見て感じて「命をいただく」ことについて考えました。次の日に「ぶりの照り焼き」にして給食で食べました。子どもたちは「おいしい」「おかわり」という声がたくさん聞こえてきました。

2022年1月19日 すみれ保育園